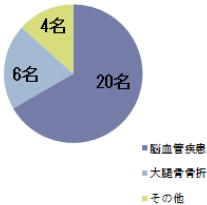


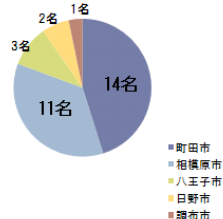
2010年退院前訪問指導実施状況

- ・当院リハ科「訪問指導報告書」より調査した。
- ・2010年1月～12月の訪問指導実施件数は31件。
(報告書の無い分、再訪問等は除く)
- ・平均年齢73.1歳 (47-92)
- ・当院からはPT、OT、MSWが同行し、地域からケアマネ (67.7%) や福祉用具貸与事業者 (45.1%) が同行する場合があった。

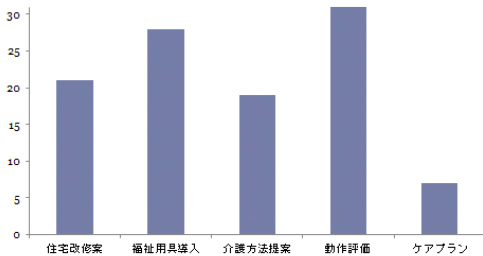
疾患別内訳



訪問地域の内訳



退院前訪問指導の実施目的 (n=31)



自具具・福祉用具適合で何を重視するか

- ・使う目的: 「何を可能にしたいのか?」
- ・使う人の身体的な機能
- ・動作の分析:
 - ・もっとやりやすくなるか?
 - ・環境設定、必要な準備は?
 - ・繰り返しできるか?
 - ・使用する過程に無理はないか?

陥りやすい思い込み

- ・機能が改善するから導入しなくていい?
- ・介助するのでわざわざ必要ない?
- ・重要な作業ではないので必要ない?
- ・リウマチだから必要はない?
- ・以前の患者さんが上手くいったから、このスプーンがあれば食べられるはず?

自具具・福祉用具の適合事例 シャワー車いすを兼用する



- ・70代脳梗塞女性、片麻痺
- ・肥満、実用歩行不可
- ・自宅でシャワーを浴びたい
- ・トイレに行きたいが、間口が狭く、車いすも入れないし、介助スペースがない
- ・シャワー車いすでトイレレットチェアとしても使用できるタイプを検討した。
- ・ただし、便器との適合情報がメーカーに十分ないのが難点

自具具・福祉用具の適合事例 機能回復に合わせたスプーンで対応



- ・40代ギランバレー症候群 男性 四肢麻痺、運動失調
- ・開始当初は食事全介助
- ① 万能カフ+すくいやすい皿で食べられるようになった
- ② 太柄スプーンでスプーンを落とさなくなった。
- ③ 退院時は普通のスプーンが使用可能となった。
- ④ 自具具著も使用できるようになった。
- (ここまで約1年かかった)

自具具・福祉用具の適合事例 電動昇降いすを何役にも使いこなす



- ・40代対麻痺 慢性腎不全 女性
- ・車いす自走可、実用歩行困難
- ・団地で夫と2人暮らし、日中は独居で猫を飼っている。
- ・台所流しでの整容(洗顔等)、夫との夕食を作ること、猫へ餌やりができるようになりたい。
- ・電動昇降椅子で流し・コンロ・床へのリーチ、シンク前移動を可能にした。

自具具・福祉用具の不適合事例 段差解消機は提案されたが・・・



- ・70代骨盤骨折男性 下肢機能障害 歩行障害
- ・旧家の農家で玄関上り框が高い、同行した業者さんから段差解消機を提案して頂いた。
- ・上り框を上がったところで立ち上がり、歩行器に変えるため手すり設置を提案。
- ・しかし業者の判断で手すりが削除されており、市役所へ再審査を依頼、退院は3週間延期となってしまった。

自具具・福祉用具の適合事例 実は玄関から出入り可能だった



- ・60代脳出血女性 片麻痺、意識障害、全介助
- ・息子さんによる自宅介護を準備することとなった。
- ・事前情報ではリクライニング車いすでも居室入口・廊下は通過不可、随先へスロープで出入りする他ないと考えていた。
- ・現場で、車いす角度を起こし、フットレストを外すことを試すとギリギリ通過可能で、不要な手間を省くことができた。